

令和3年度提示平均価額（案）の概要<田>

資料 5-1

1 提示平均価額（案）の特徴

松川町において、地目変更により低価格帯の田が減少したことを主な要因として、平均価額が上昇（前年度比：1.011倍）したことを除くと、前年度に比較して、大きな変動はありません（前年度比：0.994～1.005倍）。

これは地価が下落傾向にある中、評価額が売買実例価額を下回っているため、評価額を据え置いていることによります（全国的な取扱い）。

2 提示平均価額（案）順

順位	区分 市町村名	令和3年度 提示平均価額 （案） C（円/千㎡）	令和2年度 平均価額 F（円/千㎡）	変動割合 C/F（倍）
1	坂城町	147,913	147,926	1.000 →
2	松本市（指定市）	140,533	140,557	1.000 →
3	諏訪市	140,013	140,115	0.999 ↓
4	千曲市	136,986	136,944	1.000 →
5	南箕輪村	134,700	134,699	1.000 →

（主な理由）
上位の団体は、水田区画整理の整備率が高いことから比較的整備された田が多く、また、農道等の整備状況が良く市場までの距離などの立地条件が良い田が多いため。

3 総評価見込額の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和3年度 A（千円）	令和2年度 D（千円）	変動割合 A/D（倍）
1	王滝村	17,239	17,204	1.002 ↑
2	南相木村	65,343	65,341	1.000 →
3	平谷村	27,466	27,466	1.000 →
⋮				
75	阿智村	338,148	346,281	0.977 ↓
76	軽井沢町	131,972	135,478	0.974 ↓
77	高森町	396,773	411,360	0.965 ↓

（主な理由）
【王滝村】現況調査に基づく地目変更による増
【南相木村】現況調査に基づく地積更正による増

【阿智村・軽井沢町】現況調査に基づく地目変更による減
【高森町】田が公共用地になったことに伴う非課税地成りによる減

4 総地積の変動割合順

順位	区分 市町村名	令和3年度 B（㎡）	令和2年度 E（㎡）	変動割合 B/E（倍）
1	王滝村	317,621	317,050	1.002 ↑
2	南相木村	1,025,557	1,025,541	1.000 →
3	平谷村	330,765	330,765	1.000 →
⋮				
75	軽井沢町	2,056,645	2,110,457	0.975 ↓
76	上松町	1,125,295	1,156,350	0.973 ↓
77	高森町	3,387,899	3,494,779	0.969 ↓

（主な理由）
【王滝村・南相木村】上記3に同じ
【軽井沢町・高森町】上記3に同じ
【上松町】現況調査に基づく地目変更による減